

2023年

あつま

社協だより



秋号

発行者：社会福祉法人 厚真町社会福祉協議会
〒059-1601 勇払郡厚真町京町 158 番地
TEL (0145)26-7501/FAX(0145)26-7655

 この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

令和5年度赤い羽根共同募金運動がスタート！ あたたかいご協力をお願いいたします

赤い羽根共同募金運動は今年で77回目を迎えた全国的な助け合い運動です。

募金はそれぞれの地域で福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する貴重な財源となっており、募金運動を通じて誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会づくりを目指しています。

また募金額の3%を準備金として積み立て、災害ボランティア活動への助成など被災地の復興を支援しています。

厚真町共同募金委員会（厚真町社会福祉協議会内）では、自治会を通じた戸別募金や町内事業所、職場、団体、イベントなど、様々な機会を通じて募金へのご協力を呼びかけさせていただいています。

皆様の温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。



赤い羽根「ガチャガチャ募金」 「こぶしの湯あつま」に初お目見え！



このほど、こぶしの湯あつま内に、赤い羽根共同募金へ募金ができるカプセルトイ（ガチャガチャ）の機器を設置させていただきました。

機器に500円の募金を投入いただいてハンドルを回すと、厚真町限定のご当地ピンバッジが入ったカプセルが出てきます。

これまで赤い羽根共同募金のピンバッジは厚真町共同募金委員会の窓口のみで扱っていましたが、町内外から多く



の人が訪れる施設に機器を設置させていただいたことで、多くの方々に赤い羽根共同募金運動のPRとご協力をいただく機会が増えることが期待されます。

設置にご協力いただいたこぶしの湯あつまの担当者の方から、町外のお客様から「厚真町の記念になるものはありませんか？」との問い合わせがあるとのことで、ご当地ピンバッジが一役買うことになるかもしれません。機器の設置は12月末までを予定しています。

問い合わせ

厚真町共同募金委員会（社協内）電話0145-26-7501

令和6(2024)年度

赤い羽根共同募金ご当地ピンバッジデザイン募集

令和6年度の赤い羽根共同募金運動で、募金にご協力いただいた方へのお礼等に用いられるピンバッジのデザインを募集します。

応募作は審査員が選出し、最優秀賞は来年度のピンバッジとして製作・使用されます。

【応募要項】

募集内容：令和6(2024)年度赤い羽根共同募金ご当地ピンバッジのデザイン

募集期間：10月13日(金)～11月30日(木)

参加資格：厚真町民、厚真町にゆかりのある方(在勤・在学等)

作品形式：

- ・赤い羽根共同募金の主旨にあった作品であること。
- ・デザインに「赤い羽根」「市町村名」「西暦もしくは和暦」が入っていること。
- ・「赤い羽根」の赤色を含め6色以内で構成されていること。グラデーション不可。
- ・ピンバッジの実寸(縦・横約25mm程度)でもわかりやすいデザインであること。
- ・未発表の作品で、他者の知的所有権を侵害していない作品であること。
- ・応募用紙以外に描く場合、サイズ・用紙は不問。バッジの実寸以上で描くこと。

応募方法：

- ・作品は応募用紙等の紙面に描かれた原画、もしくは電子画像データでの提出となります。
- ・以下の必要事項を記入し、下記応募先まで郵送・持参ください。
『氏名(フリガナ)、郵便番号、住所(学生の方は学校名と所在地)、年齢、職業、電話番号、製作意図(作品に込めた思いを30字程度)、この募集を何で知ったか』
- ・応募は一人1作品に限ります。

※データで直接窓口持ち込みの場合、USB等は返却いたします。

※メールで提出を希望される場合、事前に事務局までお問い合わせください。

結果発表：令和6年1月中旬、入賞者へ連絡及び厚真町社会福祉協議会HPにて発表

- 作品はデザイン調整を行う場合があります。
- 応募作品の著作権は、厚真町共同募金委員会に帰属します。
- 応募された作品は返却できません。
- ◆社協ホームページから応募用紙がダウンロードできるようになります。

応募・問合せ先：

〒059-1601 勇払郡厚真町京町158番地 TEL 0145-26-7501

社会福祉法人厚真町社会福祉協議会内 厚真町共同募金委員会 ピンバッジ公募係

野菜作りが生きがい！ いつまでも！

マルシェの売り上げを 寄付して頂きました。

厚北地域防災コミュニティセンターな
らやま（富里）で8月19日に開催された
「ならやまマルシェ」（住民団体つむぎ主催）で、野菜を出品した地域
の高齢者の皆さんから社会福祉協議会に対しご寄付をいただきました。

発端は今年4月から厚真
町で地域おこし協力隊として「農業と福祉」をテーマ
に活動されている島倉^{しまくらかい}さんが、地域住民との活動の
一環としてマルシェへの出
品を呼びかけたのがきっかけでした。

生きがい活動として作ったジャガイモや
トマトなどの新鮮野菜が来場者から大好評
で、予想以上の売り上げとなりました。後
日、島倉さんが協力した高齢者の皆さんに、
売り上げの報告と謝礼に伺ったところ、皆
さん揃って「作った野菜を喜んでもらえて
嬉しい」「謝礼は受け取れないの
で福祉に寄付してほしい」と言わ
れたそうです。

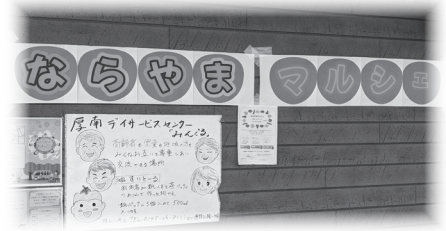
温かい皆さんの思いに心から感
謝申し上げます。



町内外からたくさんの来場者



地域の高齢者が作った野菜



地域おこし協力隊
島倉さん



福祉車両貸出について

厚真町社会福祉協議会では、会が保有している車いす対応
の福祉車両等を貸し出ししています。このほど貸出要綱を整理
しホームページで申請書等の関係書類を閲覧できるようにな
りましたのでご案内いたします。

利用料は無料ですが燃料等の使用にかかる経費はご利用者
の負担となります。

車輛の貸し出しは原則として30日前から2週間前までに
申し込みをお願いしております。都合により貸し出しができ
ない場合もありますので、ご利用を検討の際はお早めにお問
い合わせください。



車椅子も同乗できる

車輛です。



厚真町社会福祉協議会総務係 電話0145-26-7501

ホームページ <https://atsuma-shakyo.or.jp>



令和5年度北海道社会福祉協議会会長表彰

社協役員4人が受賞

長年にわたり厚真町社会福祉協議会の理事や監事など役員を務め、地域の社会福祉発展に貢献された4人が、9月5日に札幌市で開催された北海道社会福祉大会において北海道社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。

今回受賞されたのは、今年6月に退任された元役員3人と現職役員1人の4人です。（敬称略）

池田シゲ子（厚和）、加勢敏和（美里）、中谷幸保（豊沢）、山田忠男（浜厚真）



歳末たすけあい事業のお知らせ

歳末見舞金贈呈事業

12月1日現在で次の①～③の全てと、A～Dのいずれかひとつに該当している方が対象になります。

- ① 厚真町にお住まいで、世帯員全員が道・町民税非課税である
- ② 生活保護を受給されていない
- ③ 世帯主が医療保険（被用者保険）の被扶養者になっていない

} 全てに当てはまる

- A 世帯主が20歳未満の子供を扶養している母(父)子世帯
- B 在宅で、下記等級に該当する障害者手帳を持つ方がいる世帯
(身体1・2級/療育A・B判定/精神1・2級)
- C 在宅で、特定疾患医療受給者証や特定医療費(指定難病)受給者証を持つ方がいる世帯
- D 在宅で、要介護度3以上の家族がいる世帯

+
} いずれかに当てはまる

歳末おせち贈呈事業

こちらは厚真町にお住まいの12月31日までに73歳以上になられる方で、家族が死亡または入院等の理由により、継続して単独で生活されている方（町内に子どもが居住している場合を除く）が対象となります。

詳しくは11月に折込チラシを配布する予定ですので、そちらをご覧ください。

※お手元に届かない場合には、お早めに社協までご連絡ください。

問い合わせ：0145-26-7501



厚真町遺族会

札幌護國神社参拝視察研修旅行

7月20日に、会員13人が参加しました。月寒忠霊塔では奉賛会の佐々木正美副会長と共に参拝し、納骨堂を特別に開門していただき、会員全員で人柱（遺骨、位牌等）に改めて手を合わせて参りました。札幌護國神社昇殿参拝では、反橋進宮司による祝詞奏上と参列者全員で玉串奉奠を行いました。その日は朝里川温泉に宿泊し、翌日は小樽市内を散策、旧青山別邸を見学し、会員相互の親睦を深めました。



遺族会が高齢化する中、「今年も参拝できて良かった」と加勢敏和会長は語っていました。

厚真町戦没者追悼式に参列

厚真町主催の戦没者追悼式が、8月25日に総合福祉センターで開催されました。本会の会員も参列して英霊に対し献花、加勢会長が遺族を代表して謝辞を述べられました。また、この追悼式に合わせて、8月19日に美里と上野地区の会員がつたえり公園の忠魂碑清掃活動を行い、追悼式当日に遺族会員が忠魂碑参拝にも訪れていました。

北海道戦没者追悼式の参列

北海道主催の戦没者追悼式が、8月30日に札幌市の北海道立総合体育センター（北海きたえーる）で開催されました。本町の遺族を代表して本会から加勢会長と本瀬英司副会長が参列し献花を行いました。

高齢者研修旅行



厚真町老人クラブ連合会と厚真町高齢者大学が合同で9月28日～29日の二日間にわたり実施しました。毎年恒例の行事でしたが、コロナの影響もあり4年ぶりの研修旅行となり、老連・大学合わせて38名の参加と

なりました。旅程は北海道神宮の参拝や福山醸造での工場見学、札幌市水道記念館では水や自然の大切さを改めて学ぶことができました。一泊二日の研修旅行は、知り合いの方々と久々に再会したことも重なり、皆様ご満悦の様子でした。



ふまねっとサポーター養成講座を開催！！

社会福祉協議会では生活支援体制整備事業の一環として、8月30日に「ふまねっとサポーター養成講習会」を開催し10名のサポーターが誕生いたしました。

実技と講義を行い安全に楽しく指導する方法を学ぶとともに、どんぐりころころの音楽に合わせて、交差するステップなどの様々なバリエーションで行うやり方を学びました。

運動と認知症予防と仲間づくりに繋がっていくのも、魅力の一つのようです。



安全にふまねっとを行う
注意点などを学びました

ふまねっと運動とは、50センチ四方のマス目でできた大きな網を床に敷き、この網を踏まないようにゆっくり慎重に歩く運動です。

マス目を利用したステップがたくさん用意されており、このステップを間違えないように「学習」しながら歩行のバランスを改善する「運動学習プログラム」です。集団で交差して歩くこともできるので、レクリエーションとしても楽しむことができます。

掲示板

生活福祉資金貸付制度とは…

低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉および社会参加の促進を図ることが目的の貸付制度です。

本制度ではあわせて地域の民生委員が資金を借り受けた世帯の相談支援を行います。

◆貸付利子

連帯保証人あり：無利子

連帯保証人なし：年1.5%

貸付金には総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金の4種類があり、それぞれに条件があります。また、他の貸付制度を利用する事が可能な場合には、他制度をご利用いただきます。

詳しくは厚真町社会福祉協議会
0145-26-7501まで

生活就労サポートセンターいぶり

「住まい」「仕事」「生活費」などの困難を抱えている方に総合的な支援を行います。

【住宅確保給付金】

再就職のための住居の確保が必要な方、収入が減り家賃が払えない方の支援を行います。

【就労支援】

早期就労が見込まれる方に対して、自治体とハローワークによる一体的な支援を行います。

【家計改善支援】

家計管理、滞納の解消や各種給付制度の利用、債務整理に関する支援などを行います。

お問い合わせ先 サポートセンターいぶり
0120-09-0783

困りごとや心配 日常生活自立支援事業がお手伝いします

「日常生活自立支援事業」とは、高齢の方や障がいのある方などで、認知症状などのため判断能力に支障がある方に対して、地域で安心して生活が送れるように、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理などを行う事業です。

例) 「福祉サービスの利用手続きがわからない」、「最近、物忘れが多くなって年金支給日や支払日を忘れて混乱してしまう」、「通帳や年金手帳など大切な書類の管理が心配」

【主な支援内容】

- ・福祉サービス利用援助…福祉サービスの利用手続きなどをお手伝いします。
- ・金銭管理サービス…日常の生活費の支払いや引き出しなど管理をお手伝いします。
- ・書類等預かり…紛失したら困る大切な書類や印鑑などを安全に管理します。

【対象となる方】

- ・ご本人に契約の意思があり、契約内容が理解できる方。

【利用料】

- ・1回（1時間程度）の利用で、利用料金1,200円と生活支援員の交通費実費。

お問い合わせ先：厚真町社会福祉協議会（電話：0145-26-7501）

地域のサロン活動を 支援します！

社会福祉協議会では、身近な地域で年齢や障がい等に関わらない交流の場づくりを進めるため、自主的な「地域サロン活動」に対して活動費の一部を助成します。

これから地域サロン活動を始めてみようかと検討していたり、既にサロンの活動に取り組んでいるグループなどがありましたらご活用ください。

対象となる活動や助成金額など詳しくはホームページをご覧ください。どうか、厚真町社会福祉協議会福祉担当へお問い合わせご相談ください。

厚真町社会福祉協議会福祉担当
(電話0145-26-7501)



日本舞踏子供教室の子どもたちが、学校が夏休み中にサロンへ踊りを披露しに来てくれました。



♪ ♪ ふれあいサロン カレンダー ♪ ♪

11月		12月	
7日	あれこれサロン	5日	あれこれサロン
16日	ほっ。と茶ろん	11日	ひだまりサロン
17日	ひだまりサロン	12日	ほほえみサロン憩
20日	ほほえみサロン憩	15日	ほっ。と茶ろん

R6.1月

16日	あれこれサロン
18日	ほほえみサロン憩
23日	ほっ。と茶ろん
25日	ひだまりサロン

寄付資金

河口 紀久江 様 (錦町)	木戸 秀雄 様 (表町)	大垣 良昭 様 (豊沢)
加勢 美子 様 (桜丘)	飛谷 頼孝 様 (本郷)	新田 広行 様 (札幌市)
専厚寺婦人会 様 (桜丘)	ならやまマルシェ	匿名 1件
中田 匡 様 (新町)	野菜提供一同 (町内)	
仲川 喜代美 様 (埼玉県)	當田 美範 様 (朝日)	合計 670,340円 (14件)
齊藤 泉 様 (共和)	太田代 ヒトミ 様 (新町)	(令和5年6月28日~9月30日)

物品委託

苫東石油備蓄 (株) 様 (苫小牧)
北海道石油共同備蓄 (株) 様 (苫小牧)
・・・タオル、ペットボトルキャップ
匿名 3件
・・・野菜、ペットボトルキャップ、リングプル、ポータブルトイレ

あたたかい善意に
感謝いたします

ご芳名はご本人から了解をいただいた方のみ掲載しています。

厚真町社会福祉協議会公式ホームページ
<https://atsuma-shakyo.or.jp>



今号の表紙 赤い羽根共同募金運動の様子です。

